

令和2年度

事業報告書



社会福祉法人二宮町社会福祉協議会

令和2年度 二宮町社会福祉協議会事業報告

令和2年度は、年度当初から新型コロナウイルス感染拡大により、緊急事態宣言が発出され各公共施設の使用制限や休館になったことに伴い、各イベント等が中止や休止となり、各団体では、総会や会議等が開催できないなど大きな影響が続きイベントや事業が実施できませんでした。

令和2年度重点目標に掲げた「地域の通いの場」の定着・充実では、実際、「通いの場」自体を休止することになり、再開に向けてどのような方法で実施できるか地域や町とも協議しながら準備をしてきました。

また、包括的な相談窓口は、相談機能の情報資源の集約と共有を図りました。

災害時における被災者支援のあり方の検証では、今後の継続事業として多方面から支援のあり方を検証していきます。

法人後見制度の調査研究では、先進事例の研究を行い、専門家で構成する法人後見事業設置検討委員会を立ち上げ、法人後見の基本的な考え、業務内容、課題等の協議検討を行いました。

令和2年度 重点目標

- 1 「地域の通いの場」の定着・充実支援(継続事業)
- 2 包括的な相談窓口の整備及び多機関との協働による相談支援体制の構築(継続事業)
- 3 災害時における被災者支援のあり方の検証(継続事業)
- 4 法人後見制度の調査・検討(継続事業)

分野別事業実績は次のとおりです。

【社会福祉関連】

社会福祉関係団体の活動を一堂に会して団体の活動を紹介する場として開催している社会福祉大会・ふれあい福祉のつどいは、コロナ感染症拡大の影響で中止しました。

二宮町社会福祉協議会の事業を広く知っていただくように紙ベースのチラシなどを充実し、ホームページをリニューアルし見やすく、検索しやすいように改良しました。SNS を有効に活用し様々な事業紹介を行い情報発信に努めました。

「地域の通いの場」については、開催はできなくても地域や町と連携し、関係機関の協力を得ながら継続的な運営に向けた支援をしました。

【介護・障がい関連】

ヘルパーステーションの居宅介護支援事業においては、新型コロナウイルス感染予防に

留意しつつ、緊急性が高い事例、困難な事例に対しても積極的に受け入れを行いました。定期伝達会議や他事業所との勉強会・研修などについても、web 会議ツールを活用し継続的に職員のスキルアップに努めました。

訪問介護事業では、感染予防対策を徹底しながらのサービス提供に努めた結果、利用者数、サービス時間ともに増加しました。登録ヘルパーについては募集を継続しつつ、収入面での処遇改善やリモートでの各種研修などを通して職場環境の向上を図ってきました。

就労継続支援 B 型事業所「カンナカンナ」では、コロナ禍におけるボランティアの協力は自粛しましたが、感染症対策を十分にとった上で事業継続し、利用者の支援を行いました。

ともしびショップ「なのはな」では、緊急事態宣言が発出され施設が休館されたことに伴い、一時休業になりましたが、再開後は、コロナ感染症対策を十分にとった上で営業しました。障がい者の就労支援の場として 3 名を雇用し、障がい者への指導項目リストに沿った教育支援を実施しました。

【町受託関連】

地域包括支援センター事業、ファミリーサポートセンター事業に加え、生活支援コーディネーターを中心に地域における生活支援体制の整備を推進する生活支援体制整備事業を実施しました

「生活支援体制整備事業」では、町が設置する第 1 層協議体(おたがいさま推進協議体)及び第 2 層協議体(小学校区程度とする協議体)に生活支援コーディネーターが参画し、生活支援体制の構築を図りました。しかし、コロナ感染拡大の影響で各 1 回しか実施できない状況でありながら、情報収集、情報共有にも検討を加えました。

また、前年度県アドバイザー派遣事業としてアドバイスをもらい、地域において成果があり活動につながりました。

認知症地域支援・ケア向上事業では、認知症地域支援推進員を中心に、地域における認知症対応力の強化や支援体制の構築を図るため、サポーター養成講座を開催し、養成講座を受けた人がいる事業所等には、サポーターステッカーを掲示していただき広く周知するなど支援体制を強化しました。

次にファミリーサポートセンター事業では、コロナ禍において利用者側の需要もテレワーク等の生活様式も変わる中で、対応にも変化がありました。利用者数としては、減少したこともあります。課題となっているリスクマネジメントについて、町と協議を行いながら引き続き円滑な制度運営に向け、町とマニュアルやルールの検証を継続的に実施します。また、町が実施している学童保育や一時預かり事業及び病後児保育など子育て関連事業について情報共有を図っています。

令和2年度事業報告書 目次

令和2年度二宮町社会福祉協議会事業報告

I. 社会福祉事業

1. 法人運営事業

(1) 法人運営事業	1～9
(2) 広報事業	10
(3) 社会福祉大会事業	11～12
(4) 助成事業	13
(5) 心配ごと相談所事業	14
(6) ボランティアセンター事業	15～17
(7) 地域福祉活動推進事業	18～21
(8) 共同募金配分金事業	22
(9) 福祉サービス利用援助事業	23～24
(10) 緊急通報システム事業	25
(11) ファミリーサポートセンター事業	26～27
(12) 生活福祉資金貸付事業	28
(13) 緊急援護資金貸付事業	28
(14) 基金積立事業	29
(15) 善意銀行	29
(16) 生活支援体制整備事業	30～31

2. ヘルパーステーション事業

(1) 居宅介護支援事業	32
(2) 訪問介護事業	33～35

3. 障害福祉サービス事業

(1) 就労継続支援事業	36～38
--------------	-------

II. 公益事業

1. ともしびショップ運営事業

(1) ともしびショップ運営事業	39～40
------------------	-------

2. 地域包括支援センター事業

(1) 地域包括支援センター事業	41～47
------------------	-------

I. 社会福祉事業

1. 法人運營業

(1) 法人運營業

① 役員会

○ 理事会

執行機関としての理事会を開催。令和2年度は4回開催。6月4日は社会福祉法第45条の14第9項により準用される一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第96条及び定款第30条第2項に基づく理事会の決議の省略により、当該提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなされた。

開催日時と議事は下記のとおり。場所は二宮町社協第1会議室。8月7日は生涯学習センターラディアンミーティングルーム2。

令和2年6月4日(決議があったものとみなされた日)

議事

1. 令和元年度事業報告について
2. 令和元年度収支計算及び会計監査報告について
3. 評議員候補者の推薦について
4. 役員選任議案の評議員会への提出について
5. 評議員選任・解任委員の選任について
6. 地域包括支援センター運営規程(介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント(第1号介護予防支援事業))の一部改正について
7. 決議の省略による評議員会の開催について

令和2年8月7日

理事10名・監事2名出席

議事

1. 令和2年度収支補正予算書(第1号)(案)について
2. 副会長の選任について
3. 評議員候補者の推薦について
4. ホームヘルプステーション運営規程(指定訪問介護事業)の一部改正について
5. ホームヘルプステーション運営規程(第1号訪問事業)の一部改正について
6. ホームヘルプステーション運営規程(障害者総合支援事業)の一部改正について
7. 地域包括支援センター運営規程(介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント(第1号介護予防支援事業))の一部改正について
8. 令和2年度第2回評議員会の招集について

令和2年11月13日

理事9名・監事2名出席

議事

1. 令和2年度収支補正予算書(第2号)(案)について
2. 評議員候補者の推薦について
3. 令和2年度第3回評議員会の招集について

その他

1. 菜の花ウォッチングについて
2. 福祉バスの活用について

報告事項

1. 会長(理事長)の職務執行状況報告(4月～10月)について
2. 令和2年度予算執行状況について
3. 法人後見制度について

令和3年3月4日

理事9名・監事2名出席

議事

1. 令和2年度収支補正予算(第3号)(案)について
2. 令和3年度事業計画書(案)について
3. 令和3年度収支予算書(案)について
4. 評議員候補者の推薦について
5. 福祉バス運行規程を廃止する規程について
6. ホームヘルプステーション運営規程(指定訪問介護事業)の一部改正について
7. ホームヘルプステーション運営規程(第1号訪問事業)の一部改正について
8. ホームヘルプステーション運営規程(障害者総合支援事業)の一部改正について
9. 地域包括支援センター運営規程(介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント(第1号介護予防支援事業))の一部改正について
10. 令和2年度第4回評議員会の招集について

報告事項

1. 会長(理事長)の職務執行状況報告(11月～2月)について

○理事部会

事業の能率的かつ活動的な推進と運営を図るため、理事部会を開催。

・財務部会、企画運営部会合同会議

令和3年2月19日 場所 二宮町社協 第1会議室 議事 1. 令和3年度事業計画書(案)及び収支予算書(案)について	理事6名出席
--	--------

・企画運営部会

令和2年5月15日 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

・広報部会

令和2年4月7日 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止(資料送付) 資料 1. 社協にのみや137号について 2. 令和2年度広報部会予定表について	
令和2年4月28日 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止(資料送付) 資料 1. 社協にのみや137号について	
令和2年7月6日 場所 二宮町社協 第2会議室 議事 1. 社協にのみや138号について	理事3名出席
令和2年8月4日 場所 二宮町社協 第2会議室 議事 1. 社協にのみや138号について	理事3名出席
令和2年11月5日 場所 二宮町社協 第2会議室 議事 1. 社協にのみや139号について	理事3名出席
令和2年12月1日 場所 二宮町社協 第2会議室 議事 1. 社協にのみや139号について	理事3名出席

○監事会

令和2年5月21日及び22日 場所 二宮町社協 第2会議室 内容 令和元年度事業報告及び会計監査、帳簿の監査	監事2名出席
--	--------

○役員・評議員研修

事業の円滑な運営と組織の強化を目的として実施。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

・評価と課題

令和2年度実績	理事会等を年間計画どおり開催し、法人の適切な意思決定を図ることができた。 役員・評議員合同の研修会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。	
第2次計画	位置づけ	5-(1)-1 役員会の組織運営体制の強化
	計画の進捗 評価と課題	【達成事項】 ・法人後見事業設置検討委員会を立ち上げ、法人後見の業務内容、課題等について検討した。 【未達成事項】 -

②評議員会

諮問機関である評議員会を開催。令和2年度は4回開催。6月23日は社会福祉法第45条9第10項により準用される一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第194条及び定款第16条第4項に基づく評議員会の決議の省略により、当該提案を可決する旨の評議員会の決議があったものとみなされた。開催日時と議事は下記のとおり。場所は二宮町社協第1会議室。8月26日は生涯学習センターラディアンミーティングルーム2。

令和2年6月23日(決議があったものとみなされた日)	
議事	1. 令和元年度事業報告について 2. 令和元年度収支計算及び会計監査報告について 3. 役員の選任について
報告事項	1. 社会福祉法人二宮町社会福祉協議会地域包括支援センター運営規程(介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント(第1号介護予防支援事業))の一部改正について
令和2年8月26日	評議員13名出席
議事	1. 令和2年度収支補正予算書(第1号)(案)について
報告事項	1. ホームヘルプステーション運営規程(指定訪問介護事業)の一部改正について 2. ホームヘルプステーション運営規程(第1号訪問事業)の一部改正について 3. ホームヘルプステーション運営規程(障害者総合支援事業)の一部改正について 4. 地域包括支援センター運営規程(介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント(第1号介護予防支援事業))の一部改正について
令和2年11月27日	評議員14名出席
議事	1. 令和2年度収支補正予算書(第2号)(案)について
報告事項	1. 会長(理事長)の職務執行報告等(4月から10月)について 2. 令和2年度 予算執行状況について 3. 菜の花ウォッチングについて 4. 福祉バスについて 5. 法人後見制度について
令和3年3月26日	評議員14名出席
議事	1. 令和2年度収支補正予算書(第3号)(案)について 2. 令和3年度事業計画書(案)について 3. 令和3年度収支予算書(案)について
報告事項	1. 福祉バス運行規程を廃止する規程について 2. ホームヘルプステーション運営規程(指定訪問介護事業)の一部改正について 3. ホームヘルプステーション運営規程(第1号訪問事業)の一部改正について 4. ホームヘルプステーション運営規程(障害者総合支援事業)の一部改正について 5. 地域包括支援センター運営規程(介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント(第1号介護予防支援事業))の一部改正について

○役員・評議員研修

事業の円滑な運営と組織の強化を目的として実施。

<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</p>

・評価と課題

	令和2年度実績	評議員会を年間計画どおり開催し、法人の適切な意思決定を図ることができた。 役員・評議員合同の研修会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。
第 2 次 計 画	位置づけ	5-(1)-1 役員会の組織運営体制の強化
	計画の進捗 評価と課題	<p>【達成事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人後見事業設置検討委員会を立ち上げ、法人後見の業務内容、課題等について検討した。 <p>【未達成事項】</p> <p>—</p>

③事務局運営事業

各種社協事業の管理運営、事務所の管理、会員会費、共同募金活動等を実施。

○社協会員会費

・地区社協部会を中心とする会員・会費の納入状況					
一般会員会費	8,185.1	口	×	500 円	= 4,092,550 円
賛助会員会費	128.0	口	×	2,000 円	= 256,000 円
特別会員会費	16.0	口	×	5,000 円	= 80,000 円
合計	8,329.1	口			① 4,428,550 円
・町社協にて福祉団体を中心とする会員・会費の納入状況					
一般会員会費	2	口		×	500 円 = 1,000 円
賛助会員会費	6	口	(会員数 6 団体)	×	2,000 円 = 12,000 円
特別会員会費	36	口	(会員数 28 団体)	×	5,000 円 = 180,000 円
合計	44	口			② 193,000 円
・令和2年度社協会員会費総額 (①+②) = 4,621,550 円)					
(前年度 4,775,500 円) △ 153,950 円					

○赤い羽根共同募金・年末たすけあい募金

・赤い羽根共同募金	2,135,895 円
・年末たすけあい募金	2,354,576 円
合計	4,490,471 円
	(前年度 4,783,179 円) △ 292,708 円

○行路人への旅費支援

年間	10 件	総額	2,500 円	援護 (前年度 4,000 円)	1,500円減
※1件250円貸与(近隣の支援場所である平塚市、小田原市までの電車代を想定)					

○車椅子の貸出し

年間	42 回	(前年度 60 回)
----	------	------------

・評価と課題

令和2年度実績		フードバンクなどを活用した食糧支援の強化を図り、コロナ禍で生活困窮に陥っている方へ支援をするなど、町社協としての役割を果たした。また作成したパンフレットを来所者や訪問時に配布するなど「見える化」したサービスの案内に努めた。
第2次計画	位置づけ	2-(3)-1 災害時のマニュアルの整備 5-(1)-2 ・職員の育成及び勤務環境等の整備 ・PDCAサイクルによる事業の見直し ・町社協の役割やサービスの「見える化」
	計画の進捗評価と課題	【達成事項】 ・災害対策マニュアルの作成・整備を行った。 ・諸規定の整備・改廃を行い、組織体制を整えた。 ・「地域の通いの場」に配架した、生活支援サービスファイル(地域資源をまとめたもの)に社協サービス情報を掲載し、周知を図った。 ・フードバンクなどを活用した食糧支援の強化を図り、生活困窮者に支援を行うなど町社協としての役割を果たした。 【未達成事項】 -

④退職金積立事業

職員の退職金の積立を実施。

・評価と課題

令和2年度実績		適正な積立及び支給を実施。
第2次計画	位置づけ	-
	計画の進捗評価と課題	【達成事項】 - 【未達成事項】 -

⑤福祉バス運行事業

新型コロナウイルス感染拡大防止のため運行中止。

地区社協部会、福祉団体が利用。

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
使用者区分	カンナカンナ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	行政	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ボランティアグループ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	地区社協部会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ゆめクラブ連合会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	身体障害者福祉協会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	手をつなぐ育成会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他の団体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(前年度26回)

・評価と課題

令和2年度実績		新型コロナウイルス感染拡大防止のため運行中止。 車両の安全性を考慮し令和2年度をもってバスを廃車。
第2次計画	位置づけ	3-(1)-1 新たな移動支援のニーズ調査と実現可能性の検討
	計画の進捗 評価と課題	【達成事項】 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため運行中止 【未達成事項】 -

⑥災害見舞金事業

火災等の災害にあった家庭に対し支給した。

見舞金の支給	
1件	10,000 円 (前年度 1 件)

・評価と課題

令和2年度実績		被災者に災害見舞金を支給した。
第2次計画	位置づけ	2-(3)-1 災害見舞金の迅速な支給
	計画の進捗 評価と課題	【達成事項】 ・二宮町災害弔慰金の支給等に関する条例(昭和50年3月20日条例第2号)による災害弔慰金等の支給対象者との整合を図った。 【未達成事項】 -

(2) 広報事業

① 広報紙発行事業

広報紙「社協にのみや」、社協会員募集チラシ、共同募金の報告チラシの発行、全戸配布を実施。

○広報紙「社協にのみや」の発行 年3回(全戸配布)	
令和2年 5月25日	第137号発行
令和2年 8月25日	第138号発行
令和2年 12月25日	第139号発行
○チラシの配布	
・「令和2年度二宮町社協会員募集のご案内と会費のお願い」(全戸配布)	令和2年7月～9月
・「令和2年度共同募金の報告」(全戸配布)	令和3年3月25日

・評価と課題

令和2年度実績		紙面のレイアウトを工夫し、見やすい広報紙の作成に努めた。記事の内容の精査を行い年3回の発行をした。
第2次計画	位置づけ	4-(2)-1 効果的な活動の周知および情報提供のため、わかりやすく、読みやすい広報紙の作成
	計画の進捗評価と課題	【達成事項】 ・関係団体の情報等を掲載し、町内の福祉の情報発信に努めた。 【未達成事項】 ・読者ニーズの把握が課題となっている。

② ホームページ事業

社協ホームページの運営を実施。

○ホームページの運営	
<ul style="list-style-type: none"> ・社協ホームページのリニューアルを実施し、情報発信及び更新を随時実施。 ・新規ページとして地域の福祉の情報を発信する「にのみやほっとニュース」を作成。 ・ともしびショップランチメニュー、登録ボランティア「にのみや声の広報」による広報紙の音声ファイル、社協にのみやの掲載を継続している。 ・SNSの活用としてFacebookに加え、Instagramも運用し、タイムリーな情報発信に務めた。 	

・評価と課題

令和2年度実績		ホームページのリニューアルを実施。SNSの活用に努めた。
第2次計画	位置づけ	4-(2)-1 効果的な活動の周知および情報提供のため、閲覧しやすい・欲しい情報にアクセスしやすいホームページづくり
	計画の進捗評価と課題	【達成事項】 ・社協ホームページのリニューアルを実施し、見やすく、必要な情報の取得が容易にできるようレイアウトやリンクの設定を行った。 ・以前のホームページに掲載していた内容に加え、新規ページとして、地域の福祉の情報を掲載する「にのみやほっとニュース」を作成。 ・SNSの活用として昨年から活用していたFacebookに加え、Instagramも運用し、タイムリーな情報発信に務めた。 【未達成事項】 ・ニーズの把握が課題となっている。

(3) 社会福祉大会事業

① 福祉のつどい事業

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止

・評価と課題

令和2年度実績		新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止
第2次計画	位置づけ	1-(1)-1 ・福祉団体の主体的な参画と連携の促進 ・福祉を身近に感じてもらえる企画の実施
	計画の進捗 評価と課題	【達成事項】 ・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止 【未達成事項】 -

②顕彰表彰事業

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

・評価と課題

令和2年度実績		・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
第2次計画	位置づけ	1-(1)-1 対象者の積極的な掘り起し
	計画の進捗 評価と課題	【達成事項】 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 【未達成事項】 —

(4) 助成事業

福祉団体へ活動費等の助成を実施。

① 更生保護女性会助成事業

大磯地区更生保護女性会二宮支部	助成額	20,000 円
-----------------	-----	----------

・評価と課題

令和2年度実績	活動費の助成を行った。	
第2次計画	位置づけ	1-(1)-2 犯罪や非行のない地域づくりに取り組む団体・活動の支援
	計画の進捗評価と課題	【達成事項】 ・団体へ活動費を助成して団体活動の円滑化を図った。 【未達成事項】 —

② 社会を明るくする運動助成事業

大磯保護司会	助成額	20,000 円
--------	-----	----------

・評価と課題

令和2年度実績	保護司会が行う社会を明るくする運動へ助成を行い、また社会を明るくする運動をはじめとする行事に社協として参加した。	
第2次計画	位置づけ	1-(1)-2 犯罪や非行のない地域づくりに取り組む団体・活動の支援
	計画の進捗評価と課題	【達成事項】 ・犯罪や非行のない地域づくりに取り組む活動を支援し、地域福祉の推進により犯罪予防と更生援助を行うキャンペーンに協力した。 【未達成事項】 —

(5) 心配ごと相談所事業

① 心配ごと相談所事業

町民の心配ごとを解決に導くために毎月第4木曜日13時～16時に心配ごと相談を実施。

○開催日数 5日			
○相談員のべ人数			
民生児童委員	14 名	人権擁護委員	0 名
		行政相談員	5 名
合 計		19 名	
○相談件数 7件 (前年度7件)			
○相談内容及び件数			
家 族	住 宅	健 康 医 療	そ の 他
2	1	1	3
合 計		7 件	

・評価と課題

令和2年度実績		新型コロナウイルス感染拡大防止のため、7回開催を中止した。 家族関係、健康など町民の方の心配ごとの相談を受け助言を行った。 相談関係書籍の配架や広報紙への記事掲載、所内掲示物の設置など心配ごと相談事業のPRを行った。また啓発活動としてのぼり旗を作成した。
第2次計画	位置づけ	4-(1)-1 ・身近な相談所として町民に広く周知 ・町が実施する無料法律相談と相互に連携
	計画の進捗 評価と課題	【達成事項】 ・身近な相談場所として町民に広く周知するため、広報紙への掲載および実施日にはInstagramへ投稿するなど広報活動を実施した。その結果、開催日数が少かったが相談件数は多かった。 【未達成事項】 —

(6) ボランティアセンター事業

ボランティア育成のために各種事業を実施した。

① ボランティア活動連絡調整事業

○社協登録ボランティア団体(12団体が登録、前年度より1団体増)

1. 老人福祉部	7. 要約筆記サークル「てーくとーく」
2. 心身障がい部	8. 二宮町手話サークル連絡協議会
3. 児童部	9. 二宮災害ボランティアネットワーク
4. 話し相手	10. 車椅子レクダンス普及会・二宮支部
5. にのみや声の広報	11. 東大跡パラスポーツの会
6. 二宮点字の会	12. 子ども学習支援ボランティア「こむ」

○ボランティア登録状況

・団体登録	35団体	672名	(前年度 40団体 820名)
・個人登録	7名	(前年度 24名)	

○町・団体・学校からの要請に対応

開催日	内容	対象
令和2年11月16日	二宮高校 白杖体験、車いす体験、手話体験	二宮高校1年生 256名

○ボランティア講座の開催

・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

○ボランティアセンター情報交換会の開催

令和2年5月21日 中止
令和2年7月16日 二宮町社協 第1会議室 打合わせ事項 1. 社協事業及び各団体の活動状況について 2. 今年度の予定について
令和2年12月10日 二宮町社協 第1会議室 打合せ事項 1. 令和3年度登録ボランティア団体活動費助成について 2. 第9回ボランティア入門講座について
令和3年3月11日 二宮町社協 第1会議室 打合せ事項 1. 令和3年度ボランティア入門講座について 2. 夏休み福祉体験について 3. 令和3年度登録ボランティア団体活動助成について 4. 令和3年度ボランティアセンター年間予定について

・評価と課題

令和2年度実績	登録ボランティア団体との情報交換会を実施し情報の共有を図った。
第2次計画	位置づけ 1-(2)-1 社協登録ボランティア(団体)との協働によるボランティアの育成 1-(3)-1 ・若年層やシニア層の活動参加の促進 ・ニーズの把握とコーディネーターの育成 2-(3)-1 ・災害ボランティアやコーディネーターの育成 ・災害VC(ボランティアセンター)立上げのシミュレーション
	計画の進捗評価と課題 【達成事項】 ・社協登録ボランティア団体と情報交換会を実施し情報の共有を図った。 【未達成事項】 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のためボランティア入門講座を中止したことに伴いボランティアの育成及び若年層やシニア層の活動参加の促進ができていない。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため災害ボランティアセンターの立ち上げシミュレーションができていない。

②ボランティアグループ助成事業

○ボランティアグループの活動費を助成

・心身障がい部	28,000 円	(カンナカンナ交流会開催費用、消耗品)
・児童部	89,000 円	(心泉学園児童の集い開催費用等)
・二宮災害ボランティアネットワーク	25,000 円	(災害VC立上訓練使用消耗品等)
・要約筆記サークル てーくとーく	5,000 円	(カセットテープ変換プレーヤー)
・手話サークル連絡協議会	30,000 円	(PR用ユニホーム作成費、勉強会講師料)

・評価と課題

令和2年度実績		活動費の助成を行った。
第2次計画	位置づけ	1-(3)-1 ボランティア活動及び育成の支援
	計画の進捗評価と課題	<p>【達成事項】</p> <p>・社協登録ボランティアグループへ、活動費を助成し活動の円滑化を図った。</p> <p>【未達成事項】</p> <p>—</p>

(7)地域福祉活動推進事業

地域住民が安心して生活できる地域づくりの一助となるべく活動を実施。

①地区社協部会運営事業

○11地区社協部会活動運営費

地区社協部会の運営に要する費用を交付し、11地区社協部会の充実を図った。
 ※交付額は地区ごとの社協会費の40%、地域の通いの場運営費(注)の合計額

(注)地域の通いの場運営費は、月4回以上開催している地域の通いの場1か所につき3万円。
 ただし、2か所に分けて月4回以上開催している地区社協部会には、1か所分として3万円。

一色・緑が丘地区	218,000 円	上町・中町地区	159,000 円
百合が丘地区	318,000 円	下町地区	207,000 円
中里地区	207,000 円	梅沢地区	155,000 円
元町北地区	163,000 円	越地・釜野地区	169,000 円
富士見が丘・松根地区	237,000 円	茶屋・川匂地区	187,000 円
元町南地区	176,000 円		
合 計			2,196,000 円

(前年度 2,464,000 円)

○地区社協部会連絡会議の開催

連絡会議は年5回、臨時役員会を1回開催。 ※議題内容は下記のとおり

・連絡会議

<p>令和2年4月21日(書面開催)</p> <p>議題 1. 役員を選出について 2. 令和2年度の年間予定について</p> <p>連絡事項 1. 令和2年度地域の通いの場について</p>
<p>令和2年6月2日(臨時役員会)</p> <p>会場 二宮町社協 第一会議室</p> <p>議題 1. 令和2年度二宮町社協会員募集とご協力のおねがいについて 2. 令和2年度地域の通いの場について 3. 各地区イベントについて</p> <p>連絡事項 1. 令和2年度赤い羽根共同募金について</p>
<p>令和2年6月19日(書面開催)</p> <p>議題 1. 令和2年度二宮町社協会員募集とご協力のおねがいについて</p> <p>連絡事項 1. 役員選出の結果報告 2. 役員会での決定事項について 3. 令和元年度地域の通いの場実績報告について 4. 令和2年度地域の通いの場について 5. 令和2年度赤い羽根共同募金について</p> <p>その他 1. 各種様式ダウンロードの仕方</p>
<p>令和2年8月25日</p> <p>会場 二宮町役場 町民センター(3Aクラブ室)</p> <p>議題 1. 令和2年度赤い羽根共同募金のご協力のおねがいについて</p> <p>連絡事項 1. 令和2年度地域の通いの場について</p>
<p>令和2年11月17日</p> <p>会場 二宮町社協 第一会議室</p> <p>議題 1. 令和3年度地域の通いの場について 2. 各種提出書類について</p> <p>連絡事項 1. 令和2年度社協会員会費の報告について 2. 福祉バスについて</p>

令和3年2月16日

会場 二宮町社協 第一会議室

- 議題
1. 令和3年度地域の通いの場について
 2. SAKURA * PROJECTについて
 3. 令和2年度社協会員会費の報告及び令和3年度運営費の交付について
 4. 令和2年度共同募金の報告及び令和3年度共同募金配分金の交付について

連絡事項 1. 各種提出書類について

・評価と課題

令和2年度実績	<p>新型コロナウイルス感染症が多大な影響を及ぼし、地域での多くの活動が休止または中止となってしまった。そのような状況下でも各地区社協部会では、感染症予防に努め、地域のためにと模索、工夫をしながら活動を行ってきた。また、11地区18か所で開催されている地域の通いの場においても、町と連携し活動方法の模索、工夫がなされた。しかし、活動の再開が困難な状況は続き、再開してもすぐに休止となり、思うような活動が行えなかった。コロナ禍においても、地区社協部会、町、社協とが一体となり、地域とのつながりづくりのさまざまな活動が行われた。また、それに併せて健康促進などの有益な情報提供も行った。</p> <p>引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響が見込まれるため、地区社協部会連絡会では意見交換に重点を置き、今後の地域福祉活動について検討を進める。</p>				
第2次計画	<table border="1"><tr><td data-bbox="199 952 395 1339">位置づけ</td><td data-bbox="395 952 1522 1339"><p>2-(1)-1</p><ul style="list-style-type: none">・住民意識の啓発による自助活動の促進・地域における資源整理、課題抽出の促進・地区社協のあり方の検証・検討<p>2-(2)-1</p><ul style="list-style-type: none">・地域の交流の場として「通いの場」整備・通いの場の機能充実(町連携:生活支援・情報交流等)<p>3-(2)-1</p><ul style="list-style-type: none">・通いの場の有効活用(町連携:介護予防等)・高齢者の活躍の場づくり<p>4-(4)-1</p><ul style="list-style-type: none">・地区社協の相互連携及び情報共有・「オール地域」づくりの推進(町連携)</td></tr><tr><td data-bbox="199 1339 395 1722">計画の進捗評価と課題</td><td data-bbox="395 1339 1522 1722"><p>【達成事項】</p><ul style="list-style-type: none">・「地域の通いの場」の開催内容などを町、社協の広報紙に掲載した。・「地域の通いの場」のチラシを作成し、各関係施設に配架または、住民に配布した。・生活支援に関わる様々なテーマの出前講座を開催、または関係団体との連絡調整を行い、通いの場の開催支援を実施した。・地区社協部会連絡会において意見交換を実施し、地区間の交流を深め、連携の強化を図った。<p>【未達成事項】</p><ul style="list-style-type: none">・地区社協のあり方の検証・検討</td></tr></table>	位置づけ	<p>2-(1)-1</p> <ul style="list-style-type: none">・住民意識の啓発による自助活動の促進・地域における資源整理、課題抽出の促進・地区社協のあり方の検証・検討 <p>2-(2)-1</p> <ul style="list-style-type: none">・地域の交流の場として「通いの場」整備・通いの場の機能充実(町連携:生活支援・情報交流等) <p>3-(2)-1</p> <ul style="list-style-type: none">・通いの場の有効活用(町連携:介護予防等)・高齢者の活躍の場づくり <p>4-(4)-1</p> <ul style="list-style-type: none">・地区社協の相互連携及び情報共有・「オール地域」づくりの推進(町連携)	計画の進捗評価と課題	<p>【達成事項】</p> <ul style="list-style-type: none">・「地域の通いの場」の開催内容などを町、社協の広報紙に掲載した。・「地域の通いの場」のチラシを作成し、各関係施設に配架または、住民に配布した。・生活支援に関わる様々なテーマの出前講座を開催、または関係団体との連絡調整を行い、通いの場の開催支援を実施した。・地区社協部会連絡会において意見交換を実施し、地区間の交流を深め、連携の強化を図った。 <p>【未達成事項】</p> <ul style="list-style-type: none">・地区社協のあり方の検証・検討
位置づけ	<p>2-(1)-1</p> <ul style="list-style-type: none">・住民意識の啓発による自助活動の促進・地域における資源整理、課題抽出の促進・地区社協のあり方の検証・検討 <p>2-(2)-1</p> <ul style="list-style-type: none">・地域の交流の場として「通いの場」整備・通いの場の機能充実(町連携:生活支援・情報交流等) <p>3-(2)-1</p> <ul style="list-style-type: none">・通いの場の有効活用(町連携:介護予防等)・高齢者の活躍の場づくり <p>4-(4)-1</p> <ul style="list-style-type: none">・地区社協の相互連携及び情報共有・「オール地域」づくりの推進(町連携)				
計画の進捗評価と課題	<p>【達成事項】</p> <ul style="list-style-type: none">・「地域の通いの場」の開催内容などを町、社協の広報紙に掲載した。・「地域の通いの場」のチラシを作成し、各関係施設に配架または、住民に配布した。・生活支援に関わる様々なテーマの出前講座を開催、または関係団体との連絡調整を行い、通いの場の開催支援を実施した。・地区社協部会連絡会において意見交換を実施し、地区間の交流を深め、連携の強化を図った。 <p>【未達成事項】</p> <ul style="list-style-type: none">・地区社協のあり方の検証・検討				

②生活支援ネットワーク事業(おたすけネット)

日常生活でのちょっとした困りごとの解決のため、支援を実施した。

- コーディネーター 9名 (前年度11名)
- 生活支援サポーター 38名 (前年度34名)
- 利用者 163名 (前年度141名)

○地区別登録状況

	コーディネーター	生活支援サポーター	利用者
一色・緑が丘	1	2	10
百合が丘	4	9	54
中里	1	3	10
元町北	0	2	7
富士見が丘・松根	0	6	20
元町南	0	3	5
上町・中町	0	2	8
下町	2	3	19
梅沢	1	3	4
越地・釜野	0	1	15
茶屋・川匂	0	4	11
合計	9	38	163

○支援実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	増減
家事支援	0	0	2	4	4	1	5	8	4	1	1	4	34	94	△ 60
ゴミ出し支援	0	0	0	0	0	0	0	2	3	1	2	2	10	13	△ 3
庭関係	0	0	0	0	1	1	1	3	0	0	0	0	6	6	0
修繕等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	△ 6
見守り等	2	2	2	3	2	3	6	8	5	5	4	4	46	100	△ 54
合計	2	2	4	7	7	5	12	21	12	7	7	10	96	219	△ 123

○安心電話 毎月1回、安否確認を兼ねた電話 登録者数11人(前年度12人)

○運営委員会(コーディネーター会議合同)
新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止とした。

○意見交換会
新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止とした。

・評価と課題

令和2年度実績	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により利用者からの問い合わせが減るなど活動の縮小はあったが、感染症予防などの周知徹底を行い支援を継続した。また、利用者全員を対象に「コロナ禍でエールを送ろう」と題して安心電話を実施した。意見交換会でのボランティアとの交流の機会は持てなかったが、広報紙や町内掲示板を活用した活動内容の周知に努めた。また、併せて利用者の掘り起しとボランティアの登録促進も行った。</p>	
第2次計画	位置づけ	<p>1-(2)-1 コーディネーター及びサポーターの登録促進及びスキルアップ 3-(1)-1 新たな移動支援のニーズ調査と実現可能性の検討 4-(4)-2 ・地域包括ケアシステム(総合事業)において果たすべき役割やあり方の検討 ・他団体の類似事業との棲み分けと連携</p>
	計画の進捗評価と課題	<p>【達成事項】 ・民生委員の協力により、高齢者をはじめ多くの方へ活動内容の周知を行った。 ・ホームページや広報紙、町内掲示板を活用し多くの方へ活動内容の周知を行った。</p> <p>【未達成事項】 ・他団体の類似事業との連携。</p>

(8)共同募金配分金事業

①年末たすけあい募金配分金事業

年末たすけあい募金の配分について検討・実施した。

○令和2年度年末たすけあい募金の配分

年末たすけあい募金総額	2,354,576 円
【配分先】	
・要援護世帯への配分	
78件 390,000円 (前年度 56件 265,000円)	
(内訳: 児童扶養手当受給世帯 8件、身体障害者手帳保持者(1・2級) 52件 療育手帳保持者(A1・A2) 12件、精神障害者手帳1級保持者 0件、要介護認定5 6件)	
・施設配分	
町内福祉施設	50,000 円
町内福祉施設	30,000 円
・事務費	2,959 円
・翌年度地域福祉事業費	1,977,041 円 (令和3年度事業分)

○翌年度地域福祉事業費の配分

地域福祉団体助成事業費	710,000 円 (令和元年度募金分)		
・11地区社協部会活動事業	660,000 円		
1 一色・緑が丘地区	60,000 円	7 上町・中町地区	60,000 円
2 百合が丘地区	60,000 円	8 下町地区	60,000 円
3 中里地区	60,000 円	9 梅沢地区	60,000 円
4 元町北地区	60,000 円	10 越地・釜野地区	60,000 円
5 富士見が丘・松根地区	60,000 円	11 茶屋・川勾地区	60,000 円
6 元町南地区	60,000 円		
		合 計	660,000 円
・地域福祉活動事業	50,000 円		
ゆめクラブ連合会	50,000 円	身体障害者福祉協会	0 円
手をつなぐ育成会	0 円	合 計	50,000 円

・評価と課題

令和2年度実績	要援護世帯および町内福祉施設への支援や地域福祉団体への助成を行った。	
第2次計画	位置づけ	2-(1)-2 当事者団体の活動支援 3-(2)-1 地区社協の活動支援
	計画の進捗 評価と課題	【達成事項】 ・要援護世帯および町内福祉施設や地域福祉団体への配分を行った。 【未達成事項】 —

(9)福祉サービス利用援助事業

(県社協受託事業)

①日常生活自立支援事業

判断能力が十分でない認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者、身体障がい者に対し、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理サービス、書類等預かりを実施した。

○相談・サービス提供状況

1. 相談・相談援助件数

対象者(人) 事項	認知症 高齢者等	知的 障害者等	精神 障害者等	身体 障害者等	その他	合計
問合せ	6	1	1	4	0	12
初回相談	5	1	1	4	0	11
相談援助	11	57	152	55	0	275
令和2年度	22	59	154	63	0	298
令和元年度	167	254	306	30	1	758
増減	△ 145	△ 195	△ 152	33	△ 1	△ 460

2. サービス利用者数

	認知症 高齢者等	知的 障害者等	精神 障害者等	身体 障害者等	その他	合計
令和2年度	2	3	5	3	0	13
令和元年度	0	2	5	1	0	8
増減	2	1	0	2	0	5

3. 福祉サービス利用支援・金銭管理件数

	認知症 高齢者等	知的 障害者等	精神 障害者等	身体 障害者等	その他	合計
令和2年度	2	3	5	3	0	13
令和元年度	0	2	5	1	0	8
増減	2	1	0	2	0	5

4. 書類等預かり

	認知症 高齢者等	知的 障害者等	精神 障害者等	身体 障害者等	その他	合計
令和2年度	1	0	0	0	0	1
令和元年度	0	0	0	0	0	0
増減	1	0	0	0	0	1

○事業の周知活動

事業を周知するため資料の配付や広報紙への記事掲載を実施した。

実施時期	実施内容	対象者	対象人数
令和2年8月	広報紙「社協にのみや」に事業紹介記事を掲載	二宮町民	全戸配布

・評価と課題

令和2年度実績		生活支援員による契約者への支援を実施した。関係機関からの依頼、問合せが増加した。関係機関への事業周知は進んでいるが、支援内容についての理解が不十分と感じるケースも多いため、周知方法の検討が課題となっている。
第2次計画	位置づけ	4-(3)-1 ・高齢者や障がい者等の自立に向けた支援 ・専門員・生活支援員のスキルアップ
	計画の進捗評価と課題	【達成事項】 ・契約者の自立に向けた支援の実施。 【未達成事項】 ・事業の周知と理解の促進

(10) 緊急通報システム事業

(町補助事業)

① 緊急通報システム事業

高齢者世帯の緊急時対応や安否確認を行うシステムの運用を実施(業務は立山科学株式会社へ委託)。
申請者宅へ機器の設置を行い対応する。

令和元年度末 150件
令和2年度末 159件(前年度より9件増)

○ 緊急通報システム利用者数及び通報件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度
利用者数(月初)	150	151	151	150	154	153	148	153	155	154	154	152	-	-
新規設置件数	4	2	0	4	2	0	6	3	0	2	2	11	36	25
撤去件数	3	0	2	1	0	3	5	1	1	1	2	4	23	20
緊急通報件数	1	0	1	1	0	3	1	0	1	0	1	1	10	11
相談通報件数	3	1	7	5	2	4	5	5	3	3	1	4	43	16
安否通報件数	36	29	46	62	48	39	39	25	47	66	50	52	539	423
安否通報 救急車出動件数	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	3	2
火災通報	4	3	2	3	4	4	5	4	13	10	5	6	63	59
消防車出動件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4

・評価と課題

令和2年度実績	申請により、機器の貸出と設置を行い見守り体制の整備を図った。	
第2次計画	位置づけ	2-(3)-2 使いやすいシステムへの検討と継続的な周知
	計画の進捗 評価と課題	<p>【達成事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民生委員の協力により、高齢者をはじめ多くの方へ活動内容の周知を行った。 ・ホームページや広報紙、町内掲示板を活用し多くの方へ活動内容の周知を行った。 <p>【未達成事項】</p> <p>—</p>

(11)ファミリーサポートセンター事業

(町受託事業)

①ファミリーサポートセンター事業

会員相互の幼児、児童の一時預かりや送迎などの子育て支援を実施するファミリーセンターの運営を行った

○会員登録数

会員種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	今年度	前年度末	累計
まかせて会員	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	3	65	68
おねがい会員	1	0	0	0	3	0	1	1	0	1	0	3	10	178	188
両方会員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	16
合計	1	0	0	0	3	0	1	1	3	1	0	3	13	259	272

○活動件数

活動内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
保育所・幼稚園の送り(迎え)	1								1	3			5
習い事の送迎(未就園児)													0
保育所・幼稚園の登園前の預かり		1											1
保育所・幼稚園の帰宅後の預かり													0
それ以外の預かり(未就学児)	5	1			1	7	8	12	12	3	5	8	62
登園前の預かりと送り	3								3	5	4	8	23
登園後の迎えと預かり	6	6	8	8	6	6	6	23	9	8	13	25	124
習い事の送迎と預かり(未就学児)										2			2
それ以外の送迎と預かり(未就学児)			1					3					4
登校班場所・学校・学童への送迎	2			2	2	12	16	18	18	18	17	8	113
習い事の送迎(小学生)	3		7	8	2	5	2	2	4		2	1	36
登校前の預かり		1	12	21						17			51
下校後の預かり													0
それ以外の預かり(小学生)	3		2	3			2	2	2			2	16
登校前の預かりと送り	5				9	19	20	18	18		16	14	119
下校後の預かりと迎え	1												1
習い事の送迎と預かり(小学生)			1		2	4	4	3	3	2		1	20
それ以外の送迎と預かり(小学生)			1		1	1	2	2	8	1		6	22
その他					1								1
合計	29	9	32	42	24	54	60	83	78	59	57	73	600

28年度件数計 2,178 件

29年度件数計 1,530 件 648 件減

30年度件数計 1,642 件 112 件増

1年度件数計 1,112 件 530 件減

2年度件数計 600 件 512 件減

○まかせて会員養成講座(場所は第1会議室)

・令和2年度 第1回	5月開催予定	緊急事態宣言発令のため中止
・令和2年度 第2回	令和 2 年 12 月 9 日	3名参加 (前年度2名)
	令和 2 年 12 月 30 日	3名参加 (前年度6名)

○まかせて会員フォローアップ研修会

令和 2 年 7 月	15 名参加(前年度5名)	子どもの安全と事故についての資料送付
------------	---------------	--------------------

○まかせて会員懇談会・交流会

中止

○会報誌(ファミサポ通信)

令和 2 年 7 月・令和 3 年 1 月

・評価と課題

令和2年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ緊急事態宣言発令などに伴い、各研修等の開催実施が見合わされる中、リモート講習や在宅研修などを取り入れ、工夫して運営を実施した。 	
第2次計画	位置づけ	4-(3)-3 <ul style="list-style-type: none"> ・支援会員の養成と情報交流・スキルアップ ・子育て支援資源の調査とマップ化 ・制度の継続的な周知
	計画の進捗 評価と課題	【達成事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・新しい事業案内パンフレットを作成し、役場、保健センター、サロンなどに設置した。 【未達成事項】 -

(12)生活福祉資金貸付事業

(県社協受託事業)

①生活福祉資金貸付事業

低所得世帯、高齢者、身体障がい者世帯、失業者などの相談に対して、相談援助や経済的自立、生活安定のため必要な場合に資金の貸付支援を行った。また、新型コロナウイルス感染症の影響による休業または失業などで、支援が必要な方に対して資金の貸付支援(特例貸付)を行った。

相談件数	643 件 (前年度 40件)
貸付件数	345 件 (前年度 3件)
【内訳】	教育支援資金 2 件
	特例貸付 343 件
	(緊急小口資金 154件、総合支援資金 102件、延長貸付 54件、再貸付 33件)

・評価と課題

令和2年度実績		従来からの相談業務に加え、新型コロナウイルス感染症の影響による生活相談の受付を行い、相談者の生活状況に応じて資金の貸付支援、または他の支援機関と連携して自立に向けた支援を行った。また、必要に応じて、フードバンクを活用した食糧支援や小型生活家電およびベビー用品の提供支援を行った。
第2次計画	位置づけ	3-(3)-1 生活困窮者の自立に向け、関係機関と連携した総合的な相談の受付と貸付申請
	計画の進捗評価と課題	【達成事項】 ・県や県社協などの関係機関と連携し、相談の受付や支援を行った。 【未達成事項】 -

(13)緊急援護資金貸付事業

①緊急援護資金貸付事業

町民の一時的な困窮に伴う出費に対し、5万円を貸付限度額とし資金の貸付による援護を行った。

○令和2年度資金貸付状況

相談件数	42 件			
貸付件数	24 件	1,135,000 円	(前年度16件	590,000円)
返済総額		581,160 円	(前年度	318,800円)

○緊急援護資金積立預金(貸付原資の積立額)

令和3年3月31日現在	
定期預金	1,504,503 円

・評価と課題

令和2年度実績		従来からの相談業務に加え、新型コロナウイルス感染症の影響による生活相談の受付を行い、相談者の生活状況に応じて資金の貸付支援、または他の支援機関と連携して自立に向けた支援を行った。また、必要に応じて、フードバンクを活用した食糧支援や小型生活家電およびベビー用品の提供支援を行った。
第2次計画	位置づけ	3-(3)-1 生活困窮者の自立に向け、関係機関と連携した総合的な相談の受付と貸付の実施
	計画の進捗評価と課題	【達成事項】 ・県や県社協などの関係機関と連携し、相談の受付及び貸付を実施した。 【未達成事項】 -

(14)基金積立事業

社協の安定した事業資金を確保するために基金の積立を行った。また、基金利息を事業費として活用した。

①社会福祉基金積立事業

令和3年3月31日現在			
定期預金	16,818,181 円		
県債	76,996,500 円		
合計	93,814,681 円	(前年度 93,813,773 円)	前年度比 908 円

・評価と課題

令和2年度実績		適切な運用管理に努めた。県債、定期預金の利息収入減少が著しいため、今後の運用等についての検討が課題となっている。 運用、基金の活用について規程の整備を進める必要がある。
第2次計画	位置づけ	5-(2)-1 安定した事業資金の確保に向けた適切な運用管理
	計画の進捗評価と課題	【達成事項】 ・適切な運用管理に努めた。 【未達成事項】 -

(15)善意銀行

①善意銀行

社協にいただいた寄託金を財源にボランティアの育成支援を行った。

また、寄託品は社協事業に活用した。

寄託品	11 件	・マスク 654枚	・フェイスシールド 100枚		
		・衣類、生地、食器、食品等 多数			
寄託金	8 件	168,000 円	(前年度 759,648 円)	前年度比	△ 591,648 円

・評価と課題

令和2年度実績		寄託品と寄託金の受付を行い、ボランティア団体の活動支援のため配分を行った。新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、寄付金額は減少したが、感染予防用品の寄贈をいただき、ボランティア活動での活用や学童への配付を行った。残高増加に伴い寄託金の活用についての検討が継続的に課題となっている。
第2次計画	位置づけ	1-(3)-1 ・ボランティア活動の支援 ・支援結果のPR・周知 ・運営方法の見直し
	計画の進捗評価と課題	【達成事項】 ・社協にのみやに用途等を掲載し事業のPRを図った。 【未達成事項】 -

(16)生活支援体制整備事業

(町受託事業)

生活支援コーディネーターを中心に、地域における生活支援体制の整備を推進した。

①生活支援体制整備事業

○お互いさま推進協議会への参画

・令和2年10月29日(木)

○小学校区程度の協議会への参画

一色小学校区(いちふく)

・新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い開催中止

山西小学校区(たんぼぼささえたい)

・令和2年12月4日(金)

二宮小学校区(クローバーの笑・和・輪)

・令和2年12月11日(金)

二宮小学校区より新たに出来た生活支援活動(富士見が丘1丁目・ほほえみの会)

・令和2年5月18日(月)役員会 ・令和2年6月8日(月)役員会 ・令和2年6月29日(月)役員会

・令和2年7月13日(月)役員会 ・令和2年8月14日(金)集いの場にて「介護保険講座」

・令和2年8月28日(金)集いの場 ・令和2年9月28日(月)移動支援学習会

・令和2年10月23日(金)集いの場 ・令和2年11月30日(月)役員会 ・令和2年12月11日(金)集いの場

・令和2年12月21日(月)役員会 ・令和2年12月25日(金)集いの場 ・令和3年1月8日(金)集いの場

・令和3年1月18日(月)役員会 ・令和3年3月29日(月)役員会

○各種研修会・会議

・令和2年8月25日(火)地区社協部会連絡会

・令和2年8月28日(金)令和2年度第1回移動支援検討部会

・令和2年9月17日(木)通いの場にて「生活支援講座」

・令和2年9月28日(月)令和2年度第2回移動支援検討部会

・令和2年10月14日(水)社協個別懇談会

・令和2年11月25日(水)通いの場にて「生活支援講座」

・令和2年12月8日(火)生活支援コーディネーター研究協議会(オンライン)

・令和3年1月20日(水)生活支援コーディネーター在り方検討委員会(オンライン)

・令和3年1月29日(金)第1回生活支援コーディネーターフォローアップ研修(オンライン)

・令和3年2月15日(月)第2回生活支援コーディネーターフォローアップ研修(オンライン)

・令和3年3月18日(木)市町村社協部会研修会(事例発表)

○その他

・生活支援コーディネーターだよりの発行(2回)

・評価と課題

令和2年度実績	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、予定をしていた第1層協議体や第2層協議体の開催が思うように出来ない中で、1つの地域で助け合いの活動が仕組みとして立ち上がった。	
第2次計画	位置づけ	4-(4)-3 <ul style="list-style-type: none"> ・生活支援に関わる地域資源とニーズの洗い出し(町連携) ・資源とニーズのマッチングによる必要なサービスの確保と情報提供(町連携)
	計画の進捗評価と課題	<p>【達成事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活支援サービスファイル簡易版の作成。 ・第2層協議体より地域の助け合い活動が仕組みとして立ち上がった。 <p>【未達成事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的な生活支援コーディネーターだよりの発行。 ・地域アセスメント。

2. ヘルパーステーション事業

(1) 居宅介護支援事業

① 居宅介護支援事業

高齢者が自らの意思にもとづき、自立した質の高い生活が送れるよう、ケアプラン作成等の支援を実施した。

○介護保険・介護予防プラン作成

単位:件

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2年度合計	元年度合計	増減
要介護①	49	50	53	55	54	53	54	51	51	48	48	50	616	545	71
要介護②	31	29	30	32	32	33	36	43	41	41	39	39	426	344	82
要介護③	24	23	22	21	19	19	20	22	22	23	22	21	258	250	8
要介護④	8	7	7	7	7	9	11	12	12	11	10	10	111	88	23
要介護⑤	2	3	2	3	2	2	2	3	3	5	6	6	39	46	△7
要支援	23	21	21	26	25	23	26	24	25	24	23	25	286	167	119
合計	137	133	135	144	139	139	149	155	154	152	148	151	1736	1440	296

○住宅改修理由書作成

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2年度合計	元年度合計	増減
利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	△3

○要介護認定訪問調査

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2年度合計	元年度合計	増減
二宮町	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2	2	0
他市町	2	1	0	1	3	1	2	0	1	0	0	1	12	23	△11
合計	2	3	0	1	3	1	4	3	2	4	4	1	14	25	△11

・評価と課題

令和2年度実績		コロナ禍において、輪番制のリモート勤務などで感染予防に努め、他事業所の閉鎖に伴うケースの引き継ぎや地域包括支援センターからのケース依頼等についても対応しながら、担当件数増加につなげることができた。事業所内での定期伝達会議、他の加算取得事業所と共同で行うケース検討会もオンライン会議のツールの活用等により継続して行えた。
第2次計画	位置づけ	4-(3)-1 <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の自立に向けた居宅介護支援の実施 ・介護支援専門員のスキルアップ ・他事業所・他職種との連携による機能強化
	計画の進捗評価と課題	【達成事項】 ・居宅介護支援担当件数の増加。 ・1名の主任介護支援専門員資格取得、1名の主任介護支援専門員資格更新。 【未達成事項】 ・スキルアップのためのオンラインでの外部研修の利用促進。

(2)訪問介護事業

①訪問介護事業

自立した日常生活を営むことができるようにホームヘルパーの派遣を行った。

○ホームヘルパー派遣状況

・介護保険

(訪問介護)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2年度 合計	元年度 合計	増減
訪問対象者(人)	23	22	23	23	22	21	23	27	29	28	33	33	307	234	73
身体介護(時間)	208.5	219.5	198.5	196.0	176.5	182.0	200.5	211.5	228.5	225.0	238.0	279.0	2,563.5	1,969.8	593.7
生活援助(時間)	46.5	50.8	51.0	49.8	44.0	41.3	43.8	44.5	47.0	43.5	39.5	38.8	540.3	592.5	△52.2
身体+生活(時間)	25.0	34.5	40.0	34.5	40.0	51.5	45.5	56.5	53.0	49.0	54.0	64.5	548.0	182.5	365.5
合計(時間)	280.0	304.8	289.5	280.3	260.5	274.8	289.8	312.5	328.5	317.5	331.5	382.3	3,651.8	2,744.8	907.0

(介護予防・日常生活支援総合事業)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2年度 合計	元年度 合計	増減
要支援1(人)	6	6	7	7	5	6	7	7	7	8	9	9	84	98	△14
要支援2(人)	6	5	6	6	7	7	6	6	7	5	5	5	71	79	△8
合計	12	11	13	13	12	13	13	13	14	13	14	14	155	177	△22
訪問型Ⅰ・Ⅳ(人)	8	8	10	10	10	10	10	10	11	10	11	11	119	119	0
訪問型Ⅱ・Ⅴ(人)	4	3	3	3	2	3	3	3	3	3	3	3	36	58	△22
訪問型Ⅲ・Ⅵ(人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	12	11	13	13	12	13	13	13	14	13	14	14	155	177	△22

※訪問型Ⅰ・Ⅳ:週1回のサービス 訪問型Ⅱ・Ⅴ:週2回のサービス 訪問型Ⅲ・Ⅵ:週3回のサービス

・障害者総合支援

(居宅介護)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2年度 合計	元年度 合計	増減
身体障害者(人)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	12	0
精神障害者(人)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	11	12	△1
知的障害者(人)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	12	0
合計	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	35	36	△1
身体介護(時間)	37.0	34.0	32.0	21.0	32.0	31.0	31.0	30.5	30.5	10.5	0.0	1.0	290.5	375.5	△85.0
家事援助(時間)	7.0	11.3	10.5	10.3	10.0	10.3	11.5	10.8	12.5	7.8	3.8	4.0	109.6	256.5	△146.9
合計	44.0	45.3	42.5	31.3	42.0	41.3	42.5	41.3	43.0	18.3	3.8	5.0	400.1	632.0	△231.9

(視覚障害者)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2年度合計	元年度合計	増減
訪問対象者(人)	3	3	3	3	1	3	3	3	4	4	3	3	36	44	△ 8
同行援護 (時間)	10.0	15.5	18.0	18.0	8.5	22.0	19.0	13.5	20.5	12.0	18.5	21.0	196.5	332.0	△ 136
合計(時間)	10.0	15.5	18.0	18.0	8.5	22.0	19.0	13.5	20.5	12.0	18.5	21.0	196.5	332.0	△ 136

○介護講座の実施

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度は中止

○パートヘルパー定例会・研修会

毎月1回受講	平均16名受講
<p>今年度は新型コロナウイルス感染拡大予防のため、ヘルパーへの伝達事項についてはメールで行った。研修についてはお茶の水ケア学園のインターネット講座の受講契約をし、各ヘルパーに自宅で介護関連の研修を受講してもらった。また、連絡事項については個別に電話やメールで行った。</p>	

・評価と課題

令和2年度実績		訪問介護は利用者の介護ニーズが高まっており、今年度は常勤のサービス提供責任者を1名増員、またヘルパーの増員もあったため、利用者増、利用頻度増につながった。しかし、訪問介護のニーズに追いついていないため、さらにヘルパーの募集をする必要がある。介護講座については新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止した。
第2次計画	位置づけ	4-(3)-1 ・サービス提供責任者及びヘルパーのスキルアップ ・町民を対象とした介護講座の実施 ・他事業所・他職種との連携による機能強化 4-(3)-3 ・母子家庭等へのホームヘルパー派遣による子育て支援
	計画の進捗評価と課題	【達成事項】 ・登録ヘルパーを対象とした定例会・研修(月1回)を開催し、スキルアップを図った。 ・常勤サービス提供責任者と登録ヘルパー増員により、利用者増となった。 【未達成事項】 ・職員の研修や資格取得の援助などにより、知識とスキルアップの向上を図り、職員の定着を進める。同時に訪問介護職員に認知症介護基礎研修受講を進めていく。

②訪問介護自主事業

公的サービスで対応できない内容に対して、ヘルパーを派遣し支援を行った。

令和2年度実績 72件 304,190円（前年度 65件 280,900円）

内容:家事(掃除、買い物)、通院時の院内付き添いなど

・評価と課題

令和2年度実績		介護保険適用外の身体介護の依頼増加があった。家事援助は依頼件数、横ばいであった。
第2次計画	位置づけ	4-(3)-1 ・地域ニーズに沿った新規サービスの検討 ・利用しやすい料金の検討
	計画の進捗 評価と課題	【達成事項】 ・利用しやすいサービス料により、特に保険適用外の身体介護を伴う見守りサービスが増加。 【未達成事項】 ・新規サービスの検討。

3. 障害福祉サービス事業

(1) 就労継続支援事業

① 就労継続支援事業

利用者の日々の生活の向上を目指し、就労支援およびそれに関連する教育指導等の支援を実施しました。

○利用者の教育指導等の実施状況

実施日	内 容	場 所	参加数等	
令和2年	4 月 日	防災学習会	神奈川県防災学習センター	中 止
	5 月 日	福祉事業所合同説明会	平塚総合公園体育館	中 止
	5 月 日	日帰り研修旅行		中 止
	6 月 16 日	料理教室(第1回)	保健センター	中 止
	9 月 日	ふれあい福祉のつどい(バザー)	生涯学習センターラディアン	中 止
	10 月 14 日	避難訓練	カンナカナ	22 名
	10 月 日	赤い羽根共同募金	JR二宮駅	中 止
	10 月 日	日帰り研修旅行		中 止
	10 月 日	よるべふれあい祭り(古本市)	福祉ワークセンター	中 止
	11 月 25 日	健康診断(希望した利用者4名と職員)	町民センター	10 名
	12 月 1 日	インフルエンザ予防接種	福祉ワークセンター	20 名
	12 月 5 日	オリーブ茶葉の摘み取り	福祉ワークセンター	33 名
	12 月 17 日	忘年会	福祉ワークセンター	22 名
令和3年	1 月 6 日	新年会	福祉ワークセンター	19 名
	2 月 日	料理教室(第2回)	保健センター	中 止
	2 月 日	心身障がい部との交流会(おもちつき)	カンナカナ	中 止

○利用状況

・ 支援の総日数	245 日
・ 作業日数	245 日
・ 在籍人数	17 名
・ 実習受入日数	湘南養護学校 1名×10日間、 1名×9日間、

○ボランティア等実績

・ ボランティア延人数	123名(前年度 752名)		
(内訳) 社協・心身障がい部	55名	民生児童委員	7名
手をつなぐ育成会	15名	一般	46名
・ 体験研修(専門学生・大学生・高校生)	1件(10日間)		
・ 二宮町初任者研修(見学)	9名		

○カンナカナ運営委員会の開催

令和2年 運営委員会	委員 6名全員に送付
※令和2年度は新型コロナウイルス感染防止の観点から資料配布のみで実施	
議事 1. 平成31年度事業報告	
2. 令和2年度事業計画	

○職員の研修参加実績

令和2年7月	神奈川県指定障害福祉サービス事業者等に対する指導講習(管理者 1名)
※ウェブサイトからの資料理解で参加を見なすもの	

○事業収入実績

(単位:円)						(単位:円)	
月	受託加工	自主製品	バザー他	アルミ缶	合計	受託加工内訳	
4	203,832	0	0	0	203,832	相原製作所	1,317,747
5	132,519	0	5,165	5,950	143,634	相洋産業	273,735
6	205,947	1,900	0	0	207,847	中谷商工(秦野)	135,646
7	205,375	0	4,000	0	209,375	渡邊商店	40,000
8	151,196	3,000	0	0	154,196	DeeDee(大神、根坂間)	213,179
9	158,110	0	0	6,650	164,760	内職マーケット	160,114
10	165,215	0	0	0	165,215	湘南海岸をきれいにする会	13,351
11	182,344	200	1,100	0	183,644	その他	48,100
12	252,270	400	0	6,780	259,450	合計	2,201,872
1	156,024	0	11,920	0	167,944	自主製品内訳 (単位:円)	
2	189,244	0	0	0	189,244	廃食油石けん	10,100
3	199,796	4,600	0	7,680	212,076	手芸品	0
	2,201,872	10,100	22,185	27,060	2,261,217	合計	10,100

・評価と課題

令和2年度実績	コロナ禍でボランティアの受け入れも休止、日帰り旅行等のレクリエーションも中止し、消毒や換気等の感染症対策を実施しながら、利用者、職員だけで作業に取り組む日が多い1年でした。幸い、利用者が活動できるに十分な作業量は確保できました。また、感染を心配して利用を控えたり、利用を終了する方、欠席者も多く稼働率が下がり、事業の財源となる給付金収入が減り、安定した事業運営に影響しました。		
第2次計画	位置づけ	4-(3)-2	・支援事業、土曜カンナの実施 ・作業内容の拡充及びともしびショップ等と連携した施設外支援の実施 ・専門員・生活支援員のスキルアップ
	計画の進捗評価と課題	【達成事項】 ・感染症対策をとり、利用者が健康で、作業に取り組める環境を維持できた 【未達成事項】 ・利用者の工賃向上が十分果たせていない。	

(2) 指定特定相談支援事業

① 指定相談支援事業

障がい者の適切なサービス利用を図るため、指定相談支援を実施。

・評価と課題

令和2年度実績		相談支援専門員が就労継続支援事業と兼務なので、積極的な相談受け入れはできないが、3件程度のケースを受けるつもりで取り組み、2名の方の計画作成とモニタリングを実施した。コロナ禍で対面が難しく、電話による聞き取りを行った。
第2次計画	位置づけ	4-(1)-2 ・障がい者の抱える課題の解決や適切な公的サービス利用に向けた相談支援 ・相談支援相談員のスキルアップ
	計画の進捗評価と課題	【達成事項】 ・コロナ禍でも事業を継続できた。 【未達成事項】

Ⅱ. 公益事業

1. ともしびショップ運営事業

(1) ともしびショップ運営事業

① ともしびショップ運営事業

障がい者の就労支援の場としてともしびショップの運営を行った。

○運営委員会の開催(年4回、場所はいずれも二宮町社協 第1会議室、)

令和2年4月17日(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止、資料送付のみ)

- 資料 1. 令和元年度収支報告について
資料 2. 10周年記念イベントについて
資料 3. 令和2年度社協事業カレンダーについて

令和2年8月28日

- 議事 1. ともしびショップ営業再開に関して
議事 2. 持続化給付金について
議事 3. 新商品の販売について
議事 4. 令和2年度収支状況について(4月～7月)

令和2年10月16日

- 議事 1. 障がい者雇用の状況について
2. 菜の花ウォッチングについて
3. 令和2年度収支状況について(4月～9月)

令和3年3月19日

- 議事 1. 障がい者雇用の状況について
2. 吾妻山菜の花ウォッチング期間の営業について(報告)
3. 令和2年度収支状況について
4. 令和3年度事業計画について

○菜の花ウォッチング参加期間(令和3年1月9日～2月7日)の営業

- ・ 期間中も平日のみの営業とし、甘酒紙コップ1杯150円を実施
- ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため模擬店中止

○大磯プリンスホテルでの塩海の甘酒等の販売

大磯プリンスホテル内で、お土産等の販売を行っている店舗(株)フジノネ)に、甘酒、甘酒飴、を卸した。

※納品時に現金清算としている。

○令和2年度ともしびショップ売上収入

令和2年度売上収入	3,914,364円（前年度 6,697,046円）
雑収入	2,338,137円（前年度 362,863円）

・評価と課題

令和2年度実績		障がい者スタッフの教育、指導については、指導項目リストを活用し実施することができた。障がい者の居場所として、ともしびショップは一定の成果を上げている。新型コロナウイルス感染拡大に伴い発令された緊急事態宣言により、休業したため持続化給付金を受けた。（休業期間：令和2年3月～6月）
第2次計画	位置づけ	3-(2)-2 障害者の就労や自立に向けた支援に加え、高齢者や生活困窮者等、地域で日常生活に困難を抱える人の社会参加の場づくりの検討 3-(3)-1 ※同上(再掲)
	計画の進捗評価と課題	【達成事項】 ・ともしびショップは障がい者就労支援のため、また障がい者の居場所として一定の成果を上げている。 【未達成事項】 日常生活に困難を抱える人の社会参加の場づくりができていない。

令和2年度地域包括支援センター事業実績報告

【地域包括支援センターの概要】

1. 設置日 平成23年4月1日(平成23年度より町直営から社会福祉協議会へ委託)
2. 設置場所 平成28年10月より、二宮町役場1階
3. 配置職員 社会福祉士(1名)・主任介護支援専門員(1名)・看護師(2名)・
介護支援専門員(3名)・事務員(1名) 令和3年3月31日現在
4. 担当業務
 - ①総合相談支援業務(住民からの相談への対応など)
 - ②介護予防ケアマネジメント業務(給付管理・ケアマネジメント)
 - ③権利擁護業務(成年後見制度の活用促進、虐待防止の取り組みなど)
 - ④包括的・継続的ケアマネジメント支援業務(地域ケア会議、
地域ネットワークの構築、ケアマネジャーに対する後方支援)
 - ⑤その他(認知症サポーター養成講座、町民向け講座など)

1. 総合相談支援業務

(1) 総合相談の受付状況

高齢者やその介護者に対して、面接や訪問、電話による相談を実施し、どのような支援が必要かを把握し、地域における適切なサービス、関係機関や制度の利用につなげる等の支援を行っている。

新規相談(新規の相談者をカウントしています)

	電話	来所	訪問	その他	合計
男性	234	107	3	20	364
女性	309	104	16	20	449
不明	7	0	0	0	7
小計	550	210	19	40	820

相談者と本人との関係

	R2	R1
本人	129	128
夫	43	30
妻	69	86
息子	74	51
娘	97	131
子の妻	25	27
子の夫	2	3

	R2	R1
その他の親族	40	27
ケアマネジャー	74	56
近隣者	20	15
民生委員	48	57
行政職	56	74
医療関係者	73	70
その他	70	48
合計	820	803

相談内容

	R2	R1
介護保険関連	387	381
認定結果	73	62
生活支援	50	64
町福祉サービス	7	16
認知症関連	68	62
高齢者虐待	10	9

	R2	R1
権利擁護	4	4
支援困難事例	5	10
医療関係	33	31
健康関連	12	23
その他	171	141
合計	820	803

(2)休日・夜間帯に電話相談ができる体制整備

対応件数	40件 (前年度 37件)
------	---------------

2. 介護予防ケアマネジメント業務

(1) 介護予防支援及び介護予防ケアマネジメントの実施(給付管理とケアマネジメント)

要支援1・2、事業対象に認定された方のケアプラン作成を行っている。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R2計	R1計
介護予防支援	149	154	161	164	165	169	178	182	181	184	181	179	2046	1751
介護予防ケア マネジメント	112	128	119	120	120	127	134	130	131	133	136	136	1522	1467
委託	52	54	58	55	57	62	60	61	67	68	70	69	733	506
計	313	336	338	339	342	358	372	373	379	385	387	384	4301	3724

※要支援者数(要支援1:279人 要支援2:277人)住所地特例・入所を含む 令和3年1月末現在

【委託事業所名】…介護予防支援及び介護予防ケアマネジメントは一部業務委託が可能となっている。

町内 :社協ホームヘルパーステーション、オリーブケアマネステーション、
鶴巻訪問看護ステーションにのみや居宅介護支援センター

大磯町 :介護支援事業所りんどう大磯、介護相談こすもす、あおぼと介護相談、
大磯町社協ケアプランセンター、大磯喜楽園ケアプランセンター

中井町 :訪問看護ステーション中井

平塚市 :フィオーレ湘南さなだかもめ、SMC居宅介護支援事業所さなだ
つるかめ居宅介護支援サービス

小田原市:NPO 法人ぽっかぽか、エイチエスエー居宅介護支援センター、なかはま商会

藤沢市 :NPO 法人ワーカーズ実結居宅介護支援事業所、

3. 権利擁護業務

(1) 権利擁護相談

町担当課や介護保険事業者などと連携し、単身や認知症の高齢者で支援を要する方を早期に発見し、相談につなげられるように体制を整備している。

権利擁護の相談件数 4名 (前年度 4名)

(2) 成年後見制度の対応

成年後見制度について、相談対応を実施。また、身寄りがないなどの理由で申し立てが困難な方に対しては、町担当課へつなぎ、町長申し立ての依頼を行っている。

成年後見制度の町長申し立て 依頼件数 4件 (前年度 2件)

(3) 高齢者虐待対応

高齢者虐待に関する相談内容については、各関係機関と連携をとりながらその対応に取り組んでいる。

高齢者虐待関係の相談・対応人数 10名 (前年度 9名)

4. 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

(1) 地域ネットワークの構築

関係機関等と連携を図り、地域ケアのシステムづくりを行なっている。また、大磯町と合同で、介護サービス提供事業者やケアマネジャーなどで組織する連絡会「湘南ウエスト」を年に数回開催し、それぞれの立場からの情報交換を行なっている。

連絡会「湘南ウエスト」開催回数 3回開催 (前年度 8回)
(全体会 1回、ケアマネ部会 1回、ヘルプ部会 0回、通所部会 1回)
毎月の役員会開催(大磯町・二宮町地域包括支援センターで事務局担当)

(2) 地域ケア会議と介護支援専門員への支援

地域ケア会議の開催とスキルアップの研修の開催を行っている。

地域ケア会議開催回数 6回開催 (前年度 11回)

ケアマネジャースキルアップ事業 … 1回開催 (前年度 1回)
研修:主任ケアマネジャーとして必要なスーパービジョン

ヘルパースキルアップ事業 … 0回開催 (前年度 1回)
研修:

(3)その他(普及啓発・多職種連携・研修など)

民児児童委員協議会定例会出席、金融機関や商店への包括支援センター事業の啓発活動、地区社協部会との連携、中郡在宅連携委員会、多職種連携会議、平塚保健福祉事務所との連携、地域密着型サービス運営推進会議、県域地域包括連携会議(2回)、中郡訪問看護・大磯病院研修会、医療介護連携センターとの打合せ、地域包括支援センター現任者研修、平保認知症研修、社協新任職員研修、認知症地域支援推進員研修、法人後見研修会、社協個別懇談会、国道事務所との連携、生活支援コーディネーター研究協議会、認知症疾患医療センター研修会、生活支援コーディネーター在り方検討委員会、東海大伊勢原認知症疾患医療センター研修会、生活支援コーディネーターフォローアップ研修、若年性認知症コーディネーター設置事業研修、市町村社協部会研修会、西湘地区主マネ連絡会、介護支援専門員専門研修に協力、専門研修Ⅱ受講、包括支援センター勉強会(毎月第1水曜)、定例会(毎月第3木曜)、横断連携会議、社会福祉実習生の受け入れ

6. その他

(1) 町民を対象とした介護予防の普及啓発

介護予防に関する知識の普及・啓発や地域における自主的な活動の育成・支援を実施。

普及活動

地域の通いの場での出前講座(介護保険、後見制度、生活支援、成年後見、認知症)

合計 4 回 (前年度 33 回実施)

(2) 認知症サポーター養成講座

認知症を理解し、認知症の方とその家族を温かく見守るため、認知症に対する正しい知識と具体的な対応方法を住民に伝える認知症サポーターの養成を行っている。

認知症サポーター養成講座 8 回実施 145 名

(前年度 6 回実施 127 名) 令和 2 年度末二宮町認知症サポーター数 2,551 名

(3) 町民向け講座の開催

町民向け講座を開催し、介護者支援などを目的としている。

1 回開催予定であったが、新型コロナウイルス感染の拡大防止のため中止

(4) 町給付適正化事業への協力(ケアプランチェック)

法令遵守と適正なサービス提供に向け、町が実施するケアプラン点検に協力。

1 回開催 (町内全居宅介護支援事業所)

(5) 町高齢者サービス実態調査

町からの依頼で、訪問などで面談し、実態把握を行っている。

移送サービス 1 名 (1 名) ほんと安心ヘルパー 2 名 (4 名)

紙おむつ支給事業 1 名 (0 名) 合計 5 名 (5 名)

(6)各種運営協議会

介護保険運営協議会・地域密着型サービス運営協議会・地域包括支援センター運営協議会に出席。

介護保険運営協議会	4 回 (内 2 回書面会議)	(前年度 2 回参加)
地域密着型サービス運営協議会	4 回 (内 2 回書面会議)	(前年度 2 回参加)
地域包括支援センター運営協議会	4 回 (内 2 回書面会議)	(前年度 2 回参加)

(7)介護保険認定調査

町からの依頼で認定調査(更新者)を行っている。

1 件 (前年度 19 件)

2. 認知症地域支援・ケア向上事業

認知症地域支援推進員を中心に、地域における認知症対応力の強化や、支援体制の構築を図る。

①医療・介護等の支援ネットワークの構築

- ・認知症ケアパス・認知症安心ガイドブックの更新と配布
- ・認知症サポーター事業所向けステッカー配布

②認知症対応力向上のための支援

- ・地域ケア会議にて、認知症高齢者の対応について、事例報告と対応の協議。認知症ケアについて意見交換
- ・認知症とともに暮らす町について、介護保険事業所にアンケート調査

③相談支援の実施・支援体制の構築

- ・認知症相談(67件)
- ・にのにんカフェの開催
百合が丘児童館(1回)
二宮町社会福祉協議会(1回)
ZOOMにてオンライン開催(1回)
- ・介護者の会
開催なし(新型コロナウイルス対策)
- ・認知症初期集中支援チームへの参画
- ・認知症総合支援事業打ち合わせ(2回)
- ・通いの場にて認知症講座(3回)
- ・認知症サポーター養成講座開催(4回)
- ・認知症サポーターステップアップ講座について打ち合わせ
- ・アルツハイマーデーイベント(図書館にて認知症特集配架・ともしびショップにて認知症予防メニュー提供)

④その他

- ・令和2年10月28日「認知症地域支援推進員オンライン研修」に出席
- ・令和2年11月25日「認知症地域支援推進員オンライン研修」に出席
- ・令和3年3月23日「オレンジパートナーネットワーク連絡会」(オンライン)に出席

令和2年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、対面で行う活動はできなかったが、感染対策を行いながらできる活動としてオンラインによるにのにんカフェを行った。 ・認知症により西湘バイパス入り口に誤進入してしまうことを防ぐため、国土交通省横浜事務所と相談し、標識変更となった。 ・介護保険事業所に限らず、店舗や薬局で認知症サポーター養成講座を行った。 	
第2次計画	位置づけ	
	計画の進捗評価と課題	<p>【達成事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症ケアパス・サポーターステッカーの配布を通し、認知症普及啓発を行った。 ・認知症地域支援推進員リーフレット作成 ・オンラインを含めたにのにんカフェの開催 <p>【未達成事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーターステップアップ講座の開催 ・介護者のつどいの開催 ・介護事業所における認知症カフェ開催の後方支援